

ボートレース福岡経営計画

「経営理念」「主要施策」「事業計画」について

福岡市経済観光文化局
ボートレース事業部

アンケート調査結果概要

【来場者アンケート結果概要】

- 年代構成は、「30代」が最も多く（20.7%）、次いで「20代」（20.5%）、「40代」（19.3%）の順であり、若年層を中心に幅広い年代層が来場している。
- 性別構成は、「男性」（66.5%）、「女性」（33.5%）となっており、男性が約3分の2を占めている。
- 同行者別構成は、「家族と」が最も多く（45.1%）で約半数を占め、次いで「友人・知人と」（24.6%）、「1人で」（20.4%）の順となっている。
- 来場目的は、「舟券購入」（62.3%）や「レース観戦」（56.1%）が中心であり、「イベント目的」（11.8%）や「付き添い」（7.4%）なども一定数みられる。
- 来場の魅力としては、「レースを間近で見られる」が最も多く（76.0%）を占め、2位の「予想や勝負の醍醐味を味わえる」（34.0%）を大きく上回っており、現地観戦ならではの魅力に惹かれている来場者が多い。
- 舟券購入歴では、「10年以上」が最も多く（33.1%）を占め、長年のファンが多い一方で、「1年未満」（14.3%）や「今日が初めて」（9.4%）など新規層の来場もみられる。
- 普段の舟券購入方法は、「ボートレース福岡」での購入が中心（73.7%）であり、「電話（インターネット）投票」は24.9%と4分の1程度にとどまっている。
- ボートレース福岡の満足度は、「満足」（55.7%）が最も多く、それに次ぐ「どちらかといえば満足」（27.5%）と合わせると全体の83.2%を占め、非常に高い水準にある。

【WEBアンケート結果概要】

- ボートレース場に行ったことがない人にその理由を尋ねたところ、「ギャンブルのイメージが強く、抵抗がある」が最も多く（39.6%）、次いで「興味がわかない・面白そうに感じない」（32.7%）や「行くきっかけや誘いがなかった」（20.4%）が続いており、イメージ面や関心の低さが来場の主な障壁となっている。
- ボートレース場に行ったことがない人にどんな特典やイベントがあれば行ってみたいか尋ねたところ、「グルメフェスやキッチンカーなどの飲食イベント」が最も多く（28.4%）、次いで「割引・プレゼントなどの来場特典」（27.6%）、「有名人のステージイベント（芸人・アーティストなど）」（22.5%）、「初心者向けのガイド・舟券の買い方講座」（16.4%）の順となっている。
- 普段、電話投票で舟券を購入する人に対し、インターネットで舟券を購入する際にボートレース福岡のレースを購入する割合を尋ねたところ、九州・沖縄地方の在住者では、9割以上が「ほとんど毎回購入する」から「1割程度購入する」までの範囲で回答しており、一定程度福岡のレースを購入している一方で、その他の地域の在住者では、これらのいずれかを選択した人は約半数にとどまっている。
- 電話投票利用者のうち、ボートレース福岡のレースをほとんど、または全く購入しない人にその理由を尋ねたところ、「ボートレース福岡についてあまり知らない」が最も多く（36.2%）、次いで「他に優先しているレース場がある」（27.7%）、「好きな選手があまり出場しない」（10.6%）の順となっている。
- ボートレース福岡の収益金がまちづくりに活用されていることの認知度は、「知っている」（51.8%）と「知らない」（48.2%）でほぼ半々となっている。舟券の購入頻度が高い人ほど認知度が高い傾向にあり、舟券を購入したことがない人では86.8%が「知らない」と回答している。

ボートレース福岡の課題整理

- 都心立地の強みを活かした集客力の強化と存在感の向上
- 主力発売手段である電話投票の売上拡大に向けた取組み強化
- 公営競技に対するイメージ改善と、女性をはじめ誰もが安心して来場できる環境の整備
- 競技への関心喚起と、新規ファン獲得に向けた来場促進の仕組みづくり
- 遠方地域ファンへの認知度向上と、舟券購入につながる情報発信の強化
- 競技棟の老朽化への対応と、将来を見据えた競技環境の再整備
- 収益金の地域貢献に関する認知度向上と、社会的意義の発信

1 経営理念

今回策定する経営計画では、今後の経営の基本的な考え方を明らかにするため、新たに経営理念を定めました。

経営理念は、ボートレース福岡が目指す姿や果たすべき使命を示すものであり、今後の事業展開の指針として全ての取組の根幹となるものです。

【経営理念】

市民に開かれた都市型レジャー施設として、来場そのものが楽しい体験となる空間を創出し、スポーツとしての迫力や感動を提供しながら、安定的な収益確保による福岡市財政への持続的な貢献を通じて、市民生活の質の向上に寄与します。

2 主要施策

経営理念の実現に向けて、5つの主要施策を定め、それぞれの施策の下に具体的な取組内容を体系的に整理しました。

これらを一体的に示した施策体系図を下に掲げるとともに、各施策の具体的な内容については、第4章「事業計画」で詳しく説明します。

これらの施策は、ボートレース福岡の今後5年間における重点的な取組分野を整理したものであり、経営理念を着実に具現化するための道筋を示すものです。

2 主要施策

◆ 施策体系図



主要施策 1 来場者増加と売上の維持・向上に向けた取組み



(1) 集客イベントの充実

- ・ファミリー層や若年層をはじめ幅広い世代を対象とした多様なイベントを展開
- ・初心者教室やピット観戦ツアーなど、初来場者から長年のファンまで楽しめる機会を提供

(2) パークを活かした魅力発信と来場促進

- ・ボートレース福岡パーク（仮称）において、ボートレース場内のイベントと連動した企画や大型ビジョンを活用した情報発信などを行い、ボートレース場への来場を促進

(3) 外国人観光客への対応

- ・英語や中国語、韓国語など多言語による情報提供を充実
- ・観光関連事業者との連携のあり方や周知方法の検討を進め、ボートレース福岡の魅力を海外に発信

(4) 快適で魅力ある観戦体験の提供

- ・快適で清潔な環境の維持と安全管理の徹底により、秩序ある運営を推進
- ・初心者や外国人にも分かりやすく丁寧に対応できる案内・接遇体制を充実
- ・ここでしか味わえない体験などを取り入れ、ボートレース福岡ならではの特色づくりを推進

(5) キャッシュレス投票の促進

- ・舟券購入時の混雑緩和や利便性向上に向けたキャッシュレス投票の利用促進

(6) 魅力あるレースの提供

- ・SG・PGIなどグレードの高いレースの誘致を継続的に推進
- ・企画レースや地元選手による特選レースの実施など、番組編成を工夫

(7) 売上効果の高い開催日程の編成

- ・サマータイムレース（薄暮レース）の日程を最大限確保
- ・他場との発売時間の重複回避への取組

(8) 効果的な広報の実施

- ・WEBやSNS、各種メディア、パブリシティ等を効果的に活用した広報
- ・市のイベントとの連携によるPR強化

(9) 予想に役立つ情報発信の充実

- ・競走水面やレース傾向など福岡の特徴を分かりやすく伝える情報発信
- ・予想番組の生配信やピットレポート等による予想支援コンテンツの充実

(10) 選手の魅力発信によるファン拡大

- ・ 選手の個性や魅力を伝える情報発信
- ・ フレッシュルーキーなど若手選手の積極的な広報

(11) 他場や場外発売場への営業強化

- ・ 各場の売上実績等を踏まえた効果的な営業活動の展開
- ・ 現地プロモーションや販促物配布等による販売促進

主要施策 2 地域貢献



(1) パークを活かした地域に開かれた空間づくり

- ・ 子どもの遊び場の提供
- ・ スケートボードパークの適切な管理運営
- ・ 事業者や地域団体等によるイベント広場活用の促進

(2) 感謝イベント等の実施

- ・ 地元産品や各地の特産物を廉価で販売するイベントの実施
- ・ レース非開催日におけるボートレース場の無料開放イベントの実施

(3) 文化・スポーツの振興

- ・ Fukuoka Art Nextとの連携によるアートを活用した新しいボートレースイメージの創出
- ・ 地域プロスポーツチームとのタイアップによる共同PRやイベント開催

主要施策 3 施設の適切な維持管理及び運営



(1) 競技棟の建替え

- ・ 選手の快適な競技環境を整えるため、老朽化した競技棟の建替えに向けた検討と整備を推進

(2) 計画的な施設整備と維持管理

- ・ 各種施設・設備の老朽化や使用状況を踏まえた計画的な施設整備と維持管理
- ・ 整備計画の適宜見直しによる長寿命化と維持管理コストの最適化

(3) 来場者目線に立った施設環境の改善

- ・ 案内表示の工夫や場内装飾など、来場者の視点に立った快適で分かりやすい施設環境づくり

(4) 施設活用の最大化

- ・ 第1 立体駐車場を、都心部への自動車流入抑制を目的としたフリンジパーキング事業等に活用するなど、市の施策への協力を継続
- ・ 特別観覧施設「ROKU」や場内空きスペースの活用方法を検討

主要施策 4 経営改善に向けた取組み



(1) 施設の維持管理費の削減と運営の効率化

- 来場者数に応じたスタンド一部閉鎖等による維持管理費削減と運営効率化

(2) 顧客ニーズの把握と経営への反映

- 定期的なアンケート等の実施による顧客ニーズの把握と分析結果をもとにした改善への反映

(3) 職員の育成

- 各分野に応じた研修機会の確保と計画的な育成
- 業界団体研修への参加を通じた先進的取組や動向の把握

(4) 業界団体による支援策の活用

- 販売促進や施設整備に対する業界団体の支援事業による金銭的支援の活用

(5) 地方公営企業法の全部適用の検討

- 将来的な組織運営のあり方を見据え、地方公営企業法の全部適用について、その効果や影響を踏まえながら慎重に検討

主要施策 5 社会的責任を果たすための取組み



(1) ギャンブル等依存症対策の推進

- 公営競技の施行者としての社会的責任を踏まえ、相談窓口の充実や入場制限等の適切な運用、業界団体との連携や福岡県ギャンブル等依存症対策連携会議への参画などを通じて、ギャンブル等依存症対策を総合的に推進

(2) 社会貢献についての広報

- ボートレース事業の収益が地域の発展や市民生活の向上に役立っていることを周知し、事業の公共性や社会的意義への理解を促進

(3) 脱炭素社会への貢献

- 再生可能エネルギー由来電力の調達継続、太陽光発電設備の導入検討
- 業界全体で進められているE30燃料（エタノール30%配合ガソリン）の導入等による環境に配慮したレース場運営

(4) 災害発生時の施設活用

- 大規模災害発生時における帰宅困難者受入施設としてのボートレース場の活用

ボートレース福岡の事業に対応するSDGsゴール

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなに。そしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤を作ろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任、つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさを守ろう

16 平和と公正をすべての人に

17 パートナーシップで目標を達成しよう